

## 続けていくことと変えていくこと

校長 小池 克行

早いもので、あっという間に2学期が終わろうとしています。9月に実施した修学旅行や職場体験などの行事がまるで昨日のことのようです。

さて、1学期を終える際の学校だよりでは継続することの意味や大切さについてふれました。学校では4月のスタートに示した「相手を認め、尊重し、大切にすること」「授業を大切にすること」に2学期も継続して取り組んできました。音楽祭をはじめとする行事や学校生活において、生徒同士が支え合う姿を見ることができ、とてもうれしく思っています。また、授業においても、関わり合い、学び合う姿が増えたように感じています。さらなる向上に向けて、教職員一同、日々の教育活動に一層励んでいきます。

一方、先日保護者の皆さんにご審議いただきましたPTA組織の改編や活動の精選など、学校が生徒、保護者、地域にとって、また、そこで働く教職員にとって最適な環境になるよう、これまでの教育活動を見直すことにも取り組んでいます。ここで大切にしたいことは、生徒を中心にして考えるということです。これまで当たり前に行われていたことも、その目的をしっかりと確認しながら、検討を進めていきたいと思います。

あと数日で令和6年が終わります。1月1日に発生した地震の際は避難所対応や安否の確認など、緊急時、学校が地域の中でどの様な役割を果たすべきか、改めて深く考えることとなりました。社会の変化は速く、将来の姿を予想することが難しい時代ではありますが、保護者や地域の皆様と目標を共有し、一体となって子供たちを育む学校を目指して、これからも取り組んでいきたいと考えています。

## 令和7年度 生徒会役員選挙

12月10日（火）の午後、立会演説会を行いました。

その後、終学活時に投票し、即日開票を行いました。

今年は、生徒会長候補に2名、男子副会長に1名、女子副会長に1名の立候補があり、総勢4名での選挙活動となりました。

どの立候補者も「頸城中学校のこれから」を見据えた演説を行っていました。4名の立候補者に共通していたのは「日常の学校生活の充実」「学校行事の改善」「仲間との絆を大切にすること」でした。生徒会の役員として“自分はこうしたい”という思いも大切ですが、“仲間の意見に耳を傾ける”という姿勢がどの候補者からも感じられました。当選した3名は、3年生の姿を手本としながら、全校生徒の先頭に立って令和7年度の生徒会活動をさらに発展させるよう頑張ってくれると思います。これから新しい生徒会活動に向けた準備が始まります。ご期待ください。



生徒会長 池田さん

男子副会長 小高さん

女子副会長 伊倉さん

## 2学年 PTA 行事 ~ボッチャ~



11月19日(火)に「2学年親子 PTA~ボッチャ~」が行われました。パラリンピックの正式種目でもあるボッチャのゲーム性の奥の深さに、生徒も保護者の皆さんも真剣になることができ、とても盛り上がりました。企画運営に携わっていただきましたPTA学年委員の皆様、ありがとうございました。

## K3 集会(いじめ見逃しゼロスクール集会)



11月14日(木)「いじめをしない、させない、見逃さない」を合言葉に、頸城区の生徒と児童が集まり、いじめを許さないという強い思いを共有しました。K3とは「頸城・絆・向上」の頭文字をとっています。第1部では頸城中学校生徒会が中心となって、いじめ見逃しゼロの活動を紹介しました。第2部では1年生が中心となって小学6年生との絆を深めました。この集会の「ねらい」にある「いじめを見逃さない」はもちろんのこと、「中学生が先輩としての自覚を高める」こともできました。

## C3 大会



12月17日(火) 生徒が主体となってレクリエーションの企画運営を行い、学級や学年の枠を超えた絆を深める会が行われました。C3の意味するところはコラボレーション、チャレンジ、チャンピオンシップの頭文字をとりました。全校生徒がバドミントンをはじめとする体を動かす競技に参加し、楽しいひと時を過ごしました。ハーフタイムショーでは、生徒の芸達者ぶりに感心するばかりでした。全校が1つになれたひと時でした。

## 保護者面談から

12月上旬に行いました保護者面談では、多くの皆様からお越しいただき、ありがとうございました。面談時に要望等がありましたので、教職員で検討し、現段階での回答をお伝えします。

### <時計を持たせることについて>

バス時間の確認のために時計を持たせたいというお話をいただきました。生徒の利便性を考えると時計は便利ですが、校内での管理や授業で使用している iPad を使用して時間を確認することができるといったことを検討し、時計については学校へは持てこないこととしました。

### <携帯電話を持たせることについて>

携帯電話を持たせたいとのお話をいただきました。上下校時の防犯への対応や、下校後の生徒の活動(塾や地域クラブ活動等)への対応等で、携帯電話を持たせたいと考える保護者の方が増えてきていると思います。頸城中学校では、これまで携帯電話の持ち込みを認めてきませんでしたので、現在、教職員で検討しています。改めて回答いたします。

